

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	H31.1.22
記録者	芹澤

日時	H31.1.22 13:00～15:00	出席者	染川、野口、武長、相良、成塚、 芹澤、宮下 選挙制度プロジェクトリーダー 石橋
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題

1. 会長報告
2. 副会長・委員会報告
3. 各理事・委員会報告
4. 選挙制度プロジェクト会議

会議内容

1. 会長報告

●H30.12～H31.1 の行事報告

2. 副会長・委員会報告

武長副会長より

●連盟の会議が 2/10 県民健康センターにて行われる。

●学校薬剤師関連

- ・ H31.1.18 新曽小学校にて 1 時間薬物乱用防止の講義をおこなった。
- ・ 給食センターから分厚い書類がきて各担当薬剤師が署名を求められ、個人の判断で署名した事例について、染川会長、野口副会長、複数理事から意見があがった。今年はすでに現在進行形になってしまったのだが、今回以降給食センターから持ち込まれた事項について、一度戸田薬剤師会の理事会を通す必要があるとの認識で役員一同一致した。なお、今現実に対応を迫られている学校薬剤師の会員の先生には、今年は個人対応とするが、次回以降は薬剤師会を通してもらい、個人が困らないようバックアップすることを文書で流すこととした。

野口副会長より

●H31.1～3 の地域貢献活動の日程。中央包括支援センター圏域 1 件、新曽包括支援センター圏域 3 件で「薬との付き合い方」講演実施予定。

●MCS の普及がまだあまり進んでいない。

<在宅委員会報告>

- チラシを作成。各薬局のほか包括支援センターや地域連携室に配布を始めている。
- 2/22 学術講演会で県薬理事の池田先生、市役所長寿介護課の 2 本立てで実施予定。

<危機管理委員会>

- 会員薬局に以前災害時のアンケートをとった結果、通信手段としては携帯電話及び携帯メール（ショートメール）になるだろう、とのこと。
- 災害拠点薬局は、第一薬局に依頼している。

3. 各理事委員会報告

伊藤保険薬局委員長より

- 戸田中央総合病院との薬薬連携の会 H31.1.18 開催報告。お互いを知る第一歩となった。今後も連携深化を加速させていくことで両者一致している。

成塚広報委員長より

- HP のセキュリティは回復した。一件メールでの問い合わせがあった。コンサータ錠を扱っている薬局を教えてほしいとの内容であったが、コンサータ流通委員会に問い合わせたところ、「リストの開示はやめて頂きたい、患者さん側で電話をかけて探すか、処方医に聞いてみる」という回答であり、そのとおりに返答した、とのこと。

芹澤総務委員長より

- メディカルプラント様の A 会員の入れ替えがあった。小川様→齋藤 文孝先生
 - B 会員の新規 2 月入会の方 2 名。お二人とも学校薬剤師。
 - ・戸田鈴薬局 藍原 聖月先生
 - ・なの花薬局 齋藤 洋一先生
- 今回書類が回って手続きが完了してから齋藤先生の転勤が決まるというケースが発生。染川会長から県薬に問い合わせたが、A 会員は当該地区に勤務してはいけませんが、B 会員に関しては決まりはない、とのこと。しかし、イレギュラーな事態が起こった際には、手続きをいったん止め、理事会にはかることで全会一致で決定した。総務委員会としても手続きの手順についてもう一度洗い直すことを各理事に約束した。

<選挙の制度・規定作りプロジェクト> リーダー；戸田鈴薬局 石橋貴幸先生

- 前回の理事会で、理事抜きで選挙制度を作り理事会にかけることとなっていたが、雲をつかむような話でありプロジェクトメンバーで選挙のルールや規定をつくるのが困難だとわかり、理事会に石橋リーダーに出席して頂いてある程度意見をまとめ 3 月の理事会に完成した選挙制度をはかり、理事会で承認されたものを実際実行して頂くということに軌道修正した。
- 候補者は自薦、他薦 O.K で、やりたいと思った会員が手を上げやすいよう間口を広げる。
- 投票は期間を設け郵送でおこなうが、返信用封筒を入れておくか、往復はがきを使っておこなうこととする。
- 同一法人で議決できてしまうことを避けるため、同一法人の当選者が過半数を占めたときは再選挙をおこなう。
- 選挙管理事務所は、選挙管理委員長の所属する事務所に置く。
- 候補者決定時には一覧表を作成するが、投票の判断材料となるよう PR も載せる。

決定事項

- 給食センターとの書類取り交わしについて、今年は個人対応だが来年は戸田市薬剤師会を通してもらう。
- 2/22 学術研修と在宅の委員会のコラボ企画を池田県薬理事と戸田市長寿介護課の2本立てでおこなう。
- 次期役員の選挙について選挙の規定を作成。
- 危機管理委員会において、「災害対策担当者」「情報収取体制薬局（災害拠点薬局）；第一薬局に依頼中」。

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師委員会組織と規約、新人の発掘育成。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。危機管理の継続協議
- 実習生の参加できる薬剤師会事業
- デットストックの会員薬局間の取引
- 選挙規定の作成、運用方法の確立
- 連絡網の整備